

## 6月23日のウクライナ情報

安齋育郎

### ① ロシアがスイス会談で勝利、NYT がイスタンブール停戦を復活(メルクーリス氏、2024年6月19日)

※安齋注:自動翻訳でお楽しみ下さい。変な訳がいっぱいありますが、主意は理解できるでしょう。「ウクライナ平和会議」なるものはやらない方が良かったと言っています。アレクサンダー・メルクーリス(下写真右)はイギリスの軍事専門家。彼のコメントが引用されている次の項目も参照。

<https://youtu.be/K-X13a6n2VA>



<https://www.youtube.com/watch?v=K-X13a6n2VA>

### ② エリート部隊の投降にウクライナ軍総司令官が激怒、解体を決定 = 英専門家 (Sputnik, 2024年4月28日)



第 25 独立空挺旅団(ウクライナ空中機動軍)の投降にシルスキー総司令官は激怒し、旅団の解体を決定した。英国の軍事専門家、アレクサンダー・メルクーリス氏は YouTube チャンネルで次のように指摘した。

「これほどの規模の編隊が戦場で降伏するのは重大な出来事だ。2 週間前、ヴォジャノエ村(ドネツク人民共和国)でウクライナ軍第独立 25 空挺旅団の兵士らが降伏した。これはウクライナ軍司令部とシルスキー将軍を激怒させた。その後、彼は旅団の解体を決めた」

先にロシア国防省は第 25 独立空挺旅団の兵士らがアブデーフカ方面で投降してきたと発表していた。同旅団はウクライナ軍のエリート部隊とされている。

投降した兵士らは軍司令部が膨大な損失を無視し、兵士をひたすら大砲の餌として使用していることに不満を漏らしている。

<https://sputniknews.jp/20240428/18292025.html>

### ③ ジェフリー・サックスが暴露：米国の偽りの約束によって戦争に巻き込まれたウクライナ！絶望の NATO(2024年6月19日)

<https://youtu.be/MC61TZ6FY6M>



<https://www.youtube.com/watch?v=MC61TZ6FY6M>

### ④ サウジ皇太子のゼレンスキーとプーチンへの姿勢(2024年6月19日)

ゼレンスキー氏との会談後、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン・アル・サウド皇太子は「宗教上の理由」を理由にイタリアでの G7 サミットへの参加を拒否した。

その代わりに、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン・アル・サウド皇太子は、今年ウラジーミル・プーチン大統領が主催するロシアでの BRICS 首脳会議に出席することを約束した。

これらすべては、サウジアラビアと米国との 50 年間のオイルダラー協定が新たな協定を結ばないまま期限切れとなったことに起因する。

<https://x.com/i/status/1803005826720030854>



<https://x.com/Monmi0614/status/1803005826720030854?s=09>

## ⑤ BBC でさえ(2024年6月18日)

BBC は「ロシアの優勢がはっきりし、ウクライナは兵士が不足し、志願兵が枯渇した。Odessa での結婚式には半数しか来ない。みんな動員を恐れている。男達は住居から外に出ない。徴兵官は市民を威嚇する」

<https://x.com/i/status/1803082019741761742>



<https://x.com/ShortShort News/status/1803082019741761742?s=09>

## ⑥ ザハロワ報道官「心配すべきはバイデンの認知状態と不透明な資金繰りでしょうよ」と爆弾発言!!(2024年6月19日)

カリーヌ・ジャン＝ピエール米国ホワイトハウス報道官は、プーチン大統領の北朝鮮公式訪問について言及し、両国の関係強化は朝鮮半島の平和と安定を注視する全ての人々にとって懸念すべき兆候であると発言。

これに対しロシアのザハロワ報道官は、「皆が心配しているとしたら、それはバイデンの状態でしょう。核大国のトップでありながら、放心状態に陥ることがますます頻繁になってきているという点で健康面でも、そして、ウクライナでの汚職詐欺事件にまつわる犯罪性を帯びた金銭面についてもです。」と自身のテレグラムチャンネルでバッサリ切り捨てた。



<https://x.com/jupiter russia/status/180321604568497776?s=09>

⑦NATO、ロシアによる北朝鮮ミサイル・核支援を懸念＝事務総長(By Humeyra Pamuk、 David Brunnstrom、2024年6月19日)



北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長は18日、ロシアのプーチン大統領が24年ぶりに北朝鮮を訪問する中、NATOはロシアが北朝鮮のミサイル・核開発計画を支援する可能性を懸念していると述べた。2月撮影(2024年 ロイター/Johanna Geron)

[ワシントン 18日 ロイター] - 北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長は18日、ロシアのプーチン大統領が24年ぶりに北朝鮮を訪問する中、NATOはロシアが北朝鮮のミサイル・核開発計画を支援する可能性を懸念していると述べた。

米ワシントンを訪問中のストルテンベルグ事務総長はブリンケン米国務長官との会談後の共同記者会見で、ロシアはウクライナでの戦争を進めるにあたり、中国、北朝鮮、イランの支援を受けていると言及。「われわれはロシアが北朝鮮のミサイルや核計画を支援する可能性についても懸念している」と述べた。

その上で、北朝鮮とロシアとの関係に加え、中国がロシアの軍需経済を支援していることは、欧州の安全保障上の課題がアジアといかに結びついているかを示しているとし、来月ワシントンで開催されるNATO首脳会議では、NATOと日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランドとの関係が一段と強化されるとの見通しを示した。

中国については「欧州諸国と正常な貿易関係を維持すると同時に、第2次世界大戦以降で欧州最大の戦争を支援することはできない」とし、ある段階で中国に「代償」を課す必要があると指摘。ただ具体的には明らかにしなかった。

ブリンケン国務長官は共同記者会見で、プーチン氏の北朝鮮訪問は、ウクライナでの戦争を支援できる国との関係を強化したいという「必死の思い」の表れだと指摘。ロシアは中国の支援により防衛産業基盤を維持できているとし、「こうした状況は終わらせなければならない」と述べた。

米ホワイトハウスのジャンピエール報道官もこの日の記者会見で、ロシアと北朝鮮の協力関係の深

化は「朝鮮半島の平和と安定の維持に関心を持つ者なら誰もが大いに懸念すべき動向だ」と語った。

[https://jp.reuters.com/world/us/YD5IP552E5KQZO7JKQIFFNXLIM-2024-06-18/?taid=667211b1c8abce000127885e&utm\\_campaign=trueAnthem%3A%20Trending%20Content&utm\\_medium=trueAnthem&utm\\_source=twitter&s=09](https://jp.reuters.com/world/us/YD5IP552E5KQZO7JKQIFFNXLIM-2024-06-18/?taid=667211b1c8abce000127885e&utm_campaign=trueAnthem%3A%20Trending%20Content&utm_medium=trueAnthem&utm_source=twitter&s=09)

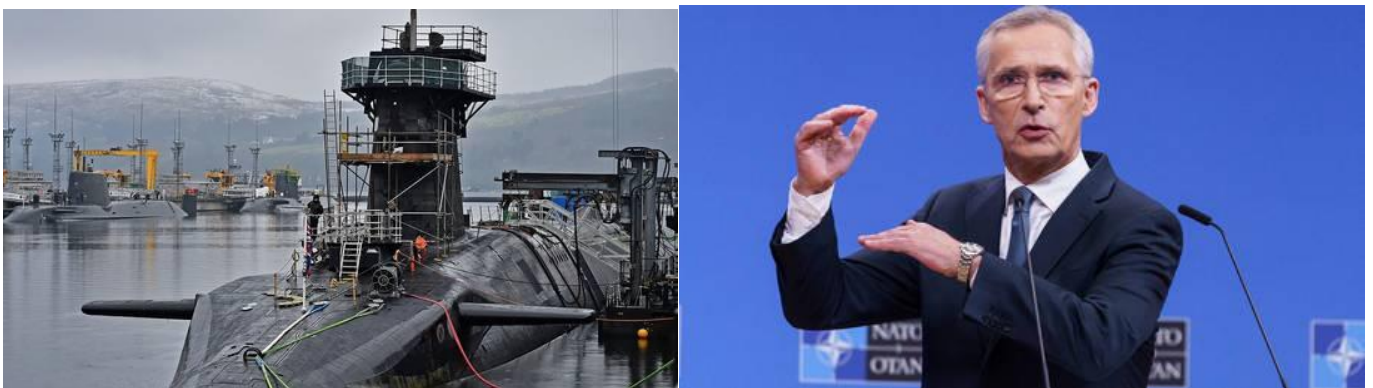
## ⑧NATO はさらなる核兵器を「準備態勢」に ストルテンベルグ事務総長(2024年6月19日)

日曜日のデイリー・テレグラフ紙とのインタビューで、ストルテンベルグ事務総長は、NATO は核兵器を保管から取り出し、使用可能な状態にすることについて協議していると述べた。

「どれだけの核弾頭を運用し、どれを保管すべきかについて、運用上の詳細には立ち入らないが、これらの問題について協議する必要がある」と述べ、すでに協議が行われていると付け加えた。

プーチンは今月初め、外国メディアとの会談でこの問題を取り上げた。プーチンは、核保有国は核による威嚇を控えるべきだとの考えを示したが、ロシアが自国の核ドクトリンに従わないと期待するなら、西側諸国は自分たちを欺いていると述べた。

「もし誰かの行動がわが国の主権と領土保全を脅かすものであれば、わが国はあらゆる手段を自由に使う権利があると考える。」「この問題を軽々しく扱ってはならない。」



<https://x.com/maeyoakeq17/status/1802885000955900105?s=09>

## ⑨ハンガリー、オランダ首相支持に転換 NATOトップ人事(JIJI.COM, 2024年6月19日)

【ベルリン時事】ハンガリーのオルバン首相は18日、任期が10月に満了する北大西洋条約機構(NATO)のストルテンベルグ事務総長の後任人事について、最有力候補であるオランダのルッテ首相を「支持する用意がある」と表明した。X(旧ツイッター)に投稿した。

オルバン政権は、性的少数者に関する規制を巡り、ハンガリーを批判したルッテ氏の過去の発言を問題視して反対していた。ルッテ氏は米英仏独の支持を受けているが、人事決定には全加盟国の同意が必要なため、ハンガリーが大きな障害とみられていた。

両首脳は17日にブリュッセルで会談した。オルバン氏によると、ロシアの侵攻を受けるウクライナへの軍事支援に関し「資金提供しない」とするハンガリーの立場を尊重することで合意。これを受けてルッテ氏支持に転じた。



<https://www.sankei.com/article/20240618-XCBRS3YJJVOGNLRF5WA7O6JK4E/>

⑩ウクライナ、財政破綻の危機!? ジェレンスキー政権の連帯保証人は、誰か!? (原口一博議員、2024年6月19日)

<https://youtu.be/9ICAE2z5wGY>

